

自然広場から： 近隣の自然の変化に目を向ける No.34

「紅葉、黄葉の季節 Season of red and yellow leaves」

2020年12月12日

今年の紅葉は例年よりも遅い感じがするが、12月中旬に入ると日に日に赤・黄色の葉の色が鮮やかになって来た。とりわけ、芦花恒春園内の紅葉が美しい。イチョウの黄葉はすでにピークを過ぎ、落葉が地を埋めている。これまた美しく、日の出、日の入りが遅くなり、寒さが増し、おまけにコロナの感染が拡大している時であるが、黄色のジュータンと多様な色とかたちの落葉に心が慰められている（次号は、落葉を特集する予定）。

公園外では、カエデやドウダンツツジが見事な色・形で迎えてくれている。今年はじめて気づかされたことがある。高木のユリの木がてっぺんまでオレンジ色に染まった堂々とした姿と世田谷自動車教習場内のケヤキの大木が見事に赤く染まったことだ。

今、私どもはコロナ禍の中で心揺れているが、悠久の時を経てきた木々はまったく揺らぐことなく、与えられた命のサイクルを見せてくれた。泰然とした自然の営みに倣い、心静めてクリスマス、新年を迎えたいと思う。

● バックナンバー（写真が拡大表示されます）

<http://sengawacx.com/>

